

§4 平均値の定理とその応用 演習問題3

📎 問題の難易度の目安【基礎】☆☆☆ 【標準】★★☆ 【発展】★★★

1 (☆☆☆)(不等式の証明①)

$\varphi(x)$ はすべての実数 x で微分可能で、 $\varphi(0) = 0$ かつ、すべての $x \geq 0$ に対して $\varphi(x) \geq x$ を満たしている。このとき任意の $\varepsilon > 0$ に対して、 $0 < t < \varepsilon$ をみたす t で $\varphi'(t) \geq 1$ となるものが存在することを示せ。

2 (★★☆)(不等式の証明②)

任意の $x \geq 0$ に対して、

$$1 + x \leq \frac{e}{e-1} \left(1 + \int_0^x (1+t)^{-1} t \, dt \right)$$

が成り立つことを示せ。

3 (★★★)(不等式の証明③)

$p > 1$ とする。任意の $x \geq 0$ に対して、

$$(1+x)^p \leq \gamma_p \left(1 + \int_0^x (1+t)^{p-2} t \, dt \right), \quad \gamma_p := \frac{p}{1 - (1+p(p-1))^{-\frac{1}{p}}}$$

が成り立つことを示せ。さらに、 $\lim_{p \rightarrow 1} \gamma_p = \frac{e}{e-1}$ であることを示せ。

4 (☆☆☆)(極限への応用)

極限 $\lim_{x \rightarrow 0} \frac{e^x - e^{\sin x}}{x - \sin x}$ を求めよ。